

(社)日本人形協会

二〇〇六年度

広報／情報（ＩＴ）／会員増強委員会

委員会活動報告

(社)日本人形協会は、節句人形、日本人形及びこれら関連製品に関する生産・流通・消費に関する調査研究と、生産技術、経営合理化等に関する指導及び奨励、普及及び啓蒙等を行うことにより、日本人形類にかかわる関連産業の発展と、伝統工芸産業の振興と、文化的向上に寄与することを目的としている。そのために現在、7つの委員会がさまざまな事業を行っている。今回は広報・情報（ＩＴ部会）・会員増強の3つの委員会について、昨年度の活動報告と、今後の新しい試みなどを紹介する。

広報委員会

広報委員会（渡邊忍委員長・委員44名）は協会の窓口。メディア各社、一般ユーザーからの問い合わせ対応、プレスリリースの制作と発表、啓蒙活動の推進事業など、対内外のコミュニケーションの要となる活動を広く展開している。

一般向け表示への
ユータク配信の
「追継業築」を
「当」統界
「不」放業
「放」業築

不当表示広告通知キャンペーン

節句人形お買い求めのお客様へ

情報!!

知っておくべき重要な情報

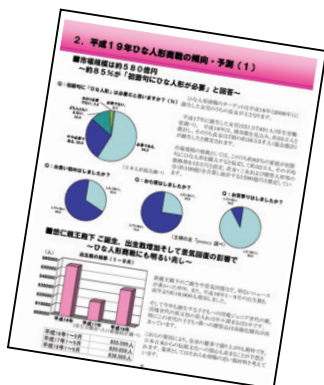
- 1. 二十万以内のお人形を一万円まで販売
- 2. 製造直売、産地直売などの方法は「ネギ」
- 3. 店舗より絶対に安い

日本人形協会のホームページからダウンロードできる

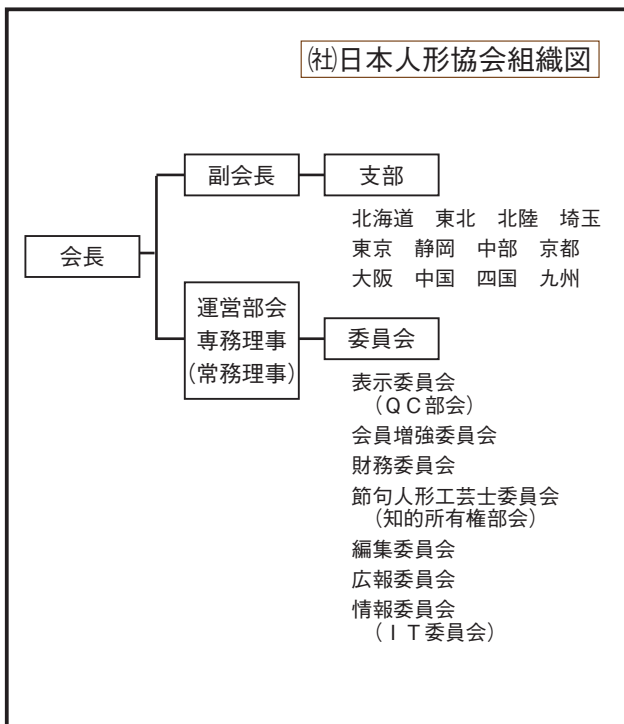
認定日本人形協会

プレスリリース

プレスリリースは2007年よりカラー表記になり、グラフを用いた見やすいデザインに一新。これまでの一般ユーザーやメディアからの質問事項も網羅した、より対外的に理解しやすい内容になった。また、協会のホームページ「協会のご案内」のページからダウンロードできる



(社)日本人形協会組織図





広報委員長
渡邊 忍

(株)晃月人形

初孫のひな人形が届かない！
「お嫁さんの実家からひな人形が届かないので、父方のこちらで購入したよ」という実例を最近耳にしました。つまりお嫁さんのお母さんが「ひな祭り」の素晴らしさを経験していなかったために、自分の娘さん、お孫さんにひな人形を購入しなかった…のかも？これは極端な例かもしれませんが。

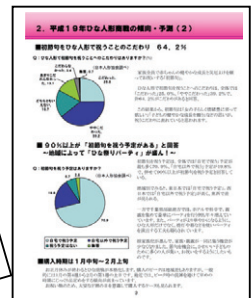
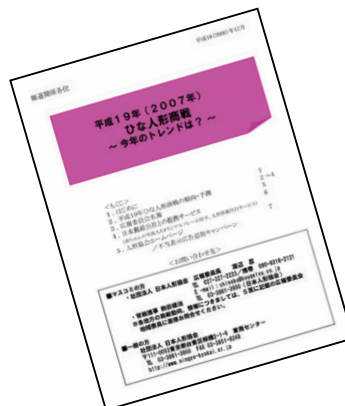
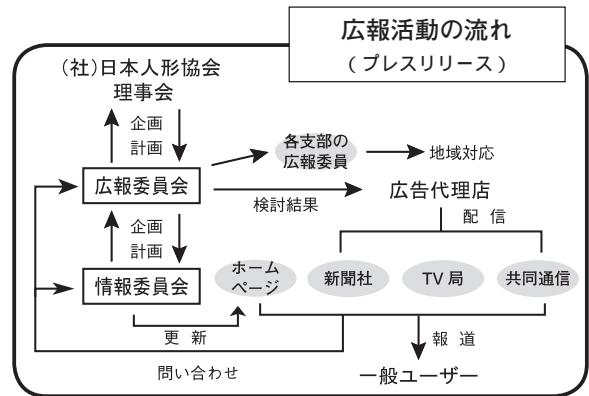
しかし「初節句」という家族が「幸せを実感」して集う体験を次世代に伝えていかなければならない！とその時に感じました。
広報委員会の活動には、節句行事の啓蒙を促進することも含まれます。親の愛情を形に表して伝える大切な伝統行事の継続と発展を図ることが肝要でしょう。
信頼と愛情のある温かい家族の年中行事には「お節句」が存在します。なんらかの事情でお節句を

されない方々にも、節句のよさを認識していただく努力をして、日本の伝統行事を守ることは我々の使命です。
またマスメディアを通じて広く節句行事の広報活動に力を入れるためにも、協会員各位のよきアドバイス、ご提案を心よりお待ちしております。日本の伝統行事と節句人形業界の興隆のためにもご協力ください。

キャンペーン ポスター



三月・五月の「一人ひと飾り」啓蒙ポスターも引き続き配布。新たに正月のポスターも制作された



新聞各紙掲載記事

(2006年に掲載された記事の一部)

三月の総括 渡邊広報委員長

「2006年の傾向として、景気の回復の影響を受けて、高級感のある豪華なものが売れ、おおむね売れ行きがよかったことを取り上げた記事が多かった」



▲岡山日日新聞 2006/2/28



▼毎日新聞 (夕刊) 2006/3/2



▼東京新聞 2006/2/24



▲産経新聞 (夕刊) 2006/3/1

▼神戸新聞 2006/4/21



▲日本経済新聞 2006/4/8 (北九州・名古屋・札幌・大阪・東京)

▲日本経済新聞 2006/2/3



▲西日本新聞 2006/5/2

▶読売新聞 2006/4/8

(北九州・札幌・名古屋・東京)



▲山陽新聞 2006/3/26



▼産経新聞 2006/4/11



五月の総括 渡邊広報委員長
「今回は映画の影響で武士道がクローズアップされた年でもあったことから、五月物についても、よく取り上げられた」





◀▲『おしゃれ工房』
日本放送出版協会発行
2006/2月号

▼『赤ちゃんのお気に入り』
(株)産経新聞メディックス発行
2006/冬～春号



雑誌掲載記事
(2006年に掲載された
記事の一部)



▲『女性セブン』
小学館発行
2006/6月29日号

日本郵政公社と提携し、新たな販促用品として「オリジナル切手」の販売を開始(詳細は『にんぎょう日本』2007年1月号P.61参照)。三月・五月の二種類の協会のオリジナルデザインシートに、選んだ写真自体が切手になるものができる

2007年からの新事業

オリジナル切手



▼「赤ちゃん～そのしあわせのために」の表紙



広告掲載

母子手帳交付時に、副読本としてほぼ全国の自治体で無料配布されている教材「赤ちゃん～そのしあわせのために」(財)母子衛生研究会発行)。乳幼児を育てるために必要な生活情報が満載。行政窓口やマタニティ教室などで、出産を予定する延べ150万人の手に渡っている。2007年4月から一年間配布されるものに、協会として広告(左参照)を掲載。反響が期待される

初節句のことは何でもおたずねください!
端午の節句 ひな祭り

日本形協会加盟店でお買い求めの方にもれなく素敵なプレゼントを差し上げます
詳しくは協会ホームページをご覧ください

パソコンから
<http://www.ningyo-kyokai.or.jp/link/>

携帯電話から
<http://m.ningyo-kyokai.or.jp/>

お求めは安心と信頼の
社団法人 日本形協会
東京都台東区橋場2-1-9 TEL:03-3861-3950

▲掲載広告

情報（IT）委員会



情報（IT）委員長
倉片順司
（株）倉片人形

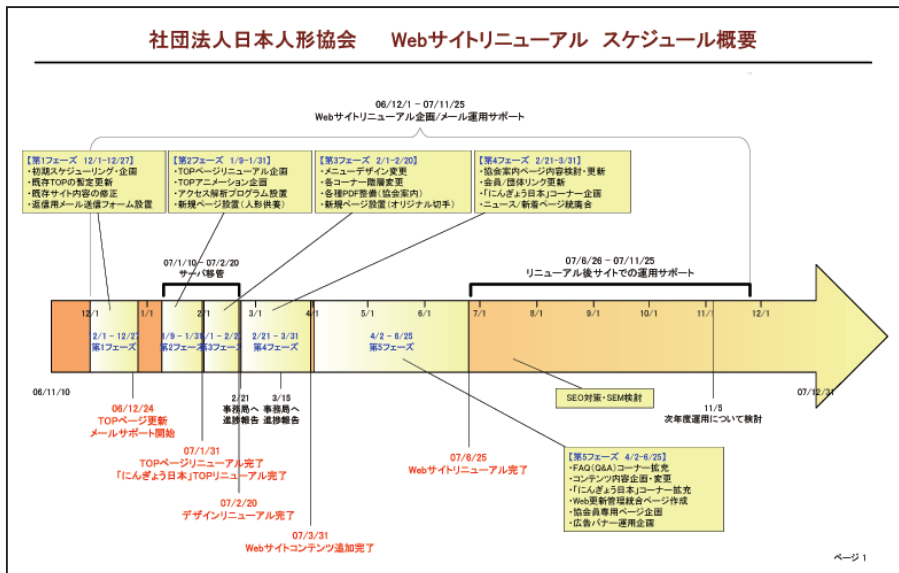
情報委員会では、ネットの普及が急速に進んでいるため、まず協会のホームページ（以下HP）のリニューアルとメール機能の整備をすることにいたしました。そして今般、まだ仮の状態ではありませんが、まあまあ今風のHPをアップすることができました。特に変更したのは「にんぎょう日本」のページで、毎月の表紙と特集ページを掲載するようにいたしました。それ以外は、あくまでも今までの内容を踏襲したもので、部屋の家具の配置を換え、壁紙を張り替えられた程度のもので、今後はこれをタタキ台にして、まだ一度も開

かれています。また、このように毎月更新をしていくことにより、当然協会HPへのアクセス数も上がってきますので、現在の会員リンク集を充実させることにより、そのメリットを感じていただけたと思いますし、日々一般の方から送られてくる質問メール等を分析することによって、Q&A（FAQ）ページを新たに作ることもできると思います。

ただ、今回のリニューアルには少々費用が発生しましたので、以前のようにリンク料という形でご協力をお願いする予定です。その節はどうぞよろしくお願い致します。

かれています。また、このように毎月更新をしていくことにより、当然協会HPへのアクセス数も上がってきますので、現在の会員リンク集を充実させることにより、そのメリットを感じていただけたと思いますし、日々一般の方から送られてくる質問メール等を分析することによって、Q&A（FAQ）ページを新たに作ることもできると思います。

情報（IT）委員会（倉片順司委員長・委員11名）は、協会内外へ向けた情報の内容調整と発信、IT環境の整備を行っている。
今回は特に大きな事業として、ホームページのリニューアルを行った。今後は更に内容拡充を予定しており、一般ユーザーからの重要なアクセスポイントとしてのサービスを充実させていく。



現在は第4フェーズに入っており、協会案内コーナーを拡充していく予定。協会の組織図、沿革、年間スケジュールなどを掲載していく方向で検討中

協会HPのトップページ。人形供養と『にんぎょう日本』、オリジナル切手のページが増設された



一般ユーザーからの問い合わせが最も多い人形供養。詳細ページにはリンクが張られているので、主催者へのアクセスも容易にできる



オリジナル切手



切手のページからは申込書がダウンロードできる

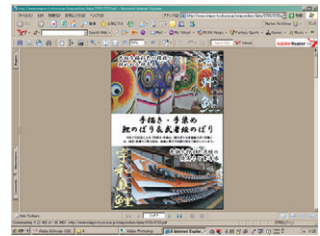


にんぎょう日本



特集 (PDF)

ここをクリックすると特集がカラーで読める



▲2007年3月号「手描き・手染め鯉のぼり&武者絵のぼり特集」

バックナンバーの特集も読める



▲2007年1月号「新春座談会」

背景を金屏風にするなどレイアウトデザインを一新。きれいでわかりやすく



「会員Webサイトへのリンク集」は支部ごとに分類（地域別も計画中）



リニューアルいろいろ



トップページのアニメーションは4種類に変化

HPの今後の展開（倉片情報委員長）

「これから徐々に正月物や甲冑のことなど、協会員が扱っているものすべてを網羅した内容にしていきたい。また、協会員のリンク集は、地域ごとに検索や選択ができるように変更していく予定」。

会員増強委員会

会員増強委員会（小菅克祥委員長・委員6名）は、協会の発展を担う要である。他の委員会とも密な連携をとり、会員増強の具体的な方策を協議することも、活動の一つである。（協会への入会方法は「入会のおすすめ」本号巻末43ページを参照）



会員増強委員長 小菅克祥

東旭(株)

昨今の人形業界を取り巻く環境は、大きく変わりつつあります。新住民基本台帳法の施行に伴い、ダイレクトメール用の名簿を取ることはほとんど不可能になりました。また、原産国の

表示義務や二重価格表示などの不当表示への対応の必要性など、業界全体で取り組む必要がある事柄も増えてきています。こうしたなかで、(社)日本人形協会は母子手帳副読本への広告掲載

を行い、協会ホームページへ節句人形購買対象となるお母さんを誘導することにより、各会員の販売に結びつけていく努力や、公正表示の基準づくりとその実施などを積極的に進めるなど、一軒一軒の人形屋さんにとって欠くことのできない存在となっております。

また、協会員にとってより役に立つ協会となるべく、事業を推進して参ります。会員のみなさまからの紹介なくお願いいたします。